

わ か ば

2019. 8. 9, 10
(令和元年) 合併号
第19-15号
文責 校長 信國 寿敏

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

教育目標 「帰国後、日本の教育に円滑に適応できるよう、日本の学校における学習指導要領に沿った国語、算数(数学)の学力の維持、併せて生活・生徒指導を行う。」

重点目標 **一人一人が輝く教育** ～期待登校・満足下校～(2年次)

小学校の教科書が変わります・・・どのように選定されるの？ 年間指導計画はどうなる？

10月頃に、これまでの教科書から新しく選定された教科書が変わります。新年の早い時期に在外公館を介して日本人学校、補習授業校に配送され、4月に児童生徒が手にすることが出来るように、3月初中旬頃に事務局員総出で学部、学年、学級の仕分け作業をする予定です。

選定の手順は、日本国内では、まず各教育委員会が文部科学省の検定を得た教科書の見本を各学校に巡回閲覧させます。そして、教師は教科書を見て、適宜、意見書を添えて返却します。

教育委員会は、現場の教師の意見などを取りまとめた上、意見を参考にしながら教育委員会としての選定や採用を決定します。一教科、一学年ずつ意見交換などをしながら審議していくので、結構ハードな選定作業になります。

日本人学校や補習授業校の教科書は、全国で最も多く採用された教科書会社の教科書が採用されるようです。

想定するに、決まるのは10月頃ではないかと思います。



実は、教科書が決まってからが、学校は大変なのです。教科書が決まってからはじめて、単元名や指導時間が示されるので、それを入手してからでないと新しい年間指導計画の作成が始められないからです。

国内も本校のような補習授業校も、大慌てで作成作業をせねばなりません。頑張ります。

運動会の反省と集合写真の掲示、購入受付

早いもので運動会が終わってから、一か月半となりました。7月20日には、2020年度の運動会をよりよくするために、各担当者の代表の方が集まれ、「成果と課題」の反省会、意見交換をされました。

学校も職員からの「成果と反省」を取りまとめ、明日10日に職員会を開く予定です。

なお、20年度の運動会を同時期の6月27日(土)に開催する予定です。

さて、カフェテリアには、運動会の集合写真を美しく模造紙に貼っていただいて、掲示しています。1枚40セントで購入ができるようにしています。お迎え時に是非ご覧ください。

担当の皆様のご支援に感謝申し上げます。

※購入方法は、最終ページをごらんください。



カフェテリアの集合写真(ホワイトボード)

児童生徒の作品紹介10



中2年の「自分の草子」、3年生の俳句、5年の作文をご紹介します。
校長 信國 寿敏



中学部2年生 私の「草子」を書こう

「春夏秋冬」 ストーンレイク 美明

春は花。秋から冬に眠っている後にパッと咲く。色とりどりに、木の上に、歩道の横にも。
夏は水。波の音が聞こえるのが良い。体にベタッと暑さがしみこんだのを、つめたい水を、流し落とす。友達と川の流れにうかび、泳ぎ、波に乗る。
秋は木。緑から黄、オレンジへ、赤へと移り変わる。不思議な世界に入り込む。足の下でクシャッと音が出るのは散歩の楽しみ、葉の落ちる時もまた、火のついた様な光景だ。
冬は火。一日中まっ白な雪降る外で遊んだ後の楽しみだ。暖炉の前にすわり、もうふにくるまり、温かい紅茶を飲む。暖かな小さな世界に入り込み、だんだんと、少しずつ眠たくなっていく。



「枕草子 行事(イベント)バージョン」

徳田 茉莉



春は出会い。新しい友達や先生。新しい教室、新しい授業。いろんな「新しい」を見つけることが出来る。
夏は祭り。あっちこっちに光るちようちん。人がたくさん集まる屋台。最後は花火で締めるのが定番。
秋はスポーツ。特にサッカーが楽しい。運動会も行われている。リレーや徒競走も楽しいが、障害物競走の最後で待ちかねたあんぱんが一番の楽しみだ。
冬は正月。もちをついたり、おせちを食べたり、正月太りしないように羽根つきなどをして体を動かすことも大事だ。神社に行ってお参りした後、おみくじを引いて今年の運勢を占うことも楽しい。

「枕草子」 中野 天真

春は桜もち。始まりと終わりの境の時、桜が多く飛び回る。その下で、桜もちをお花見しながら食べるのは、とても良いものだ。

夏はかき氷。一年で最も日が長い時。温度がすごく上がる中、冷たいかき氷を一気に食べると頭痛はするがとてもおいしく感じられる。

秋はみたらし団子。夏が終わり、一番果実が実る時。庭で紅葉を見ながら冷えててあまい団子を食べると、夏の暑かった記憶が吹っ飛んでいってしまう。
冬はお汁粉。気温が下がり、雪が降る。一年で最も寒い時。動物たちが冬眠し、木々の葉がすべて落ちる。一日の半分以上は暗くて何もできない。しかし、たまにはこたつの中で、ゆつくり温かいお汁粉を食べるのもとても良いものだ。



ポートランドの暑さは、日本ほどではありません。帰国してまたあのべっとりと体にまとわりつく日本の夏を思うと、ここは天国です。水やお湯で流した後のさっぱり感は共感できますね。北海道は梅雨もなく、夏もべとつきが少ないと聞きますが、どうなのでしょうね。

春四月は、まさに文章のとおりですね。新しい人との出会いだけでなく、新しい環境との出会い、学びの出会いもあり、全てが新鮮な気持ちで出会える時期でもあります。

かき氷やアイスクリームは好きなのですが、あの頭や鼻の奥に襲いかかる冷たさの衝撃が大の苦手です。出会うたびに、「もう食べない」と言いながら、こりもせずに食べてしまいます。

それぞれの春夏秋冬、歳時の出来事を読ませていただき、共感したり心とんだりして楽しみました。あんぱんが一番の楽しみなようですので、障害物競走は続けていかなければいけないといけませんね。

3年生 運動会の俳句

運動会 つな引きやったら 負けちゃった
てんとう虫 一緒に走った 運動会
お弁当 もぐもぐ食べて がんばるぞ
走ったら 運動会は 楽しいね

はじめての 二人三きやく せいこうだ

うん動会 白組まけて くやしいよ

あせかいて みんなで走った うんどう会

はちまきしめ 足と足つなぎ 一気に行こう

うん動会 赤白まけるなよ ボールはこび

うんどうかい たのしいじかん おべんとう

赤組の 力合わせて ゆうしようだ

アメリカの なつはじめての うんどう会

あつくてさ うん動会は つまらない

まちにまつ うんどう会の かいさい日

つなひきで 足をふんばって がんばった

くやしいよ ときようそうで くつぬげて



夏の俳句



木の下で すいかを食べて せみを聞く
晴れてきた すいかを食べて 海に行く
すいかすき なんども食べて うれしいな

南 友里絵
東 有彩
古屋 慈



水之浦 奈菜

竹内 美月

山王 大輔

齋藤 輝樹

佐藤 亜美

安藤 響

木本 朔

桑原 翔悟

大石 見虎

ファウラー 峰花

石川 咲月

佐々木 ゆい

小林 タイラー

川下 さくら

熱海 太郎

千木良 夏実



去年は一番になれず、今年こそはと頑張ったのに残念だった子もいたようです。勝敗に関係なく、互いに頑張ったことに喜びを感じる俳句もあって、一つ一つがすばらしいです。勝ったり負けたり、喜んだり悔しがったりしながら、心もたくましくなっています。夏にスイカは欠くことができないようです。子どもたちの俳句や作文には多く登場します。夏と言えば「スイカ」ですね。

5年生 作文 「日本に帰って思ったこと」

古屋 尊

ぼくは約3年ぶりに日本に帰りました。ひさしぶりに帰り、日本とアメリカとの違いをいろいろなところで感じました。

まず、東京ではせまいところにたくさん人がいました。駅ではものすごくこんでいて、人とぶつかったりしてあぶなかつたです。電車の中では老人が席に座れなくて立っているのを見て、かわいそうと思いました。

日本は暑くてがまんできませんでした。アメリカと違って、じめじめしていてしつけが多かったです。雨もふり、九州では土砂災害が起こっていました。ぼくは、オレゴンでは災害が少なくて良かったと思いました。

最後に、日本はいろいろ物や食べ物がないと思いました。コンビニの食べ物がないとおもしろかったです。また食べたいと思います。

ぼくは日本とアメリカを比べたら、どちらも住むによい所だと思います。



忘れることができないほどの思い出は、他者にも伝えたい内容となります。思い出も記憶が鮮明な作文を読むと、思わず「よく覚えているな。それほど面白かった、楽しかったんだろうな。」と、思ってしまう。その面白さ、楽しさ、また、違いなどを強く感じていればこそ、伝えたいことがたくさん出てきて、文量はおのずと増えていきます。

子どもはよく「何を書いていいかわからない・・・」と言います。作文を書き出す前に、旅先の写真やパンフレットから思い返して、友だちと話す機会を設けた作文のイメージ作りが必要です。質問を入れれば、結構話す内容が言葉となって出てきます。それらを作文にするとよいかなと思います。

今号から数回に分けて、5年生の作文を紹介していきます。

校長授業参観・・・1-1 ペクソック 美重子学級

算数科学習 「なんじ なんじはん」

この学習は、時刻に関心を持ち、時計から何時、何時半の時刻を読むようにし、日常生活に活かすことができるようにするものです。

子どもたちの多くは保護者に促されて起きたり、食事をとったりすることが多く、また、長針、短針の時計ではない、デジタル式時計に見慣れています。

まずは、針を使った時計に関心や親しみを持たせることから学習は始まります。紙皿を使った手作りの時計を一人一人が持っていることも工夫の一つです。また、教師からの時間に関する問かけと時計を関係づけて、隣り同士で自作の時計を使いながら、考え探す活動が仕組まれていました。生活と結びつけたまとめの発表では、

「6じはんにおきて、7じにあさごはんをたべて、7じはんにかっこうにいくようにして、8じにスクールバスに・・・」と、今日学んだ「なんじ なんじはん」を使い、よく理解をしていることがわかりました。



校長授業参観・・・2-2 ドウテン 富子学級

算数科学習 「時刻と時間」

この学習では、1 年時の時刻(何時、何時半)からを時の流れの「量」を表す「時間」を理解させて、日常生活に活かすことができるようにすることにあります。

私たちは日ごろ何気なく「何時ですか」や「今の時間は何時」と使うときがあります。これは、時の一点を示す「時刻」を尋ねていますが、時間と時刻をあいまいに使っていても、問いの主旨を理解して「今は9時です」などと答えることができます。そこでまずは、時刻を明確にすることが求められます。

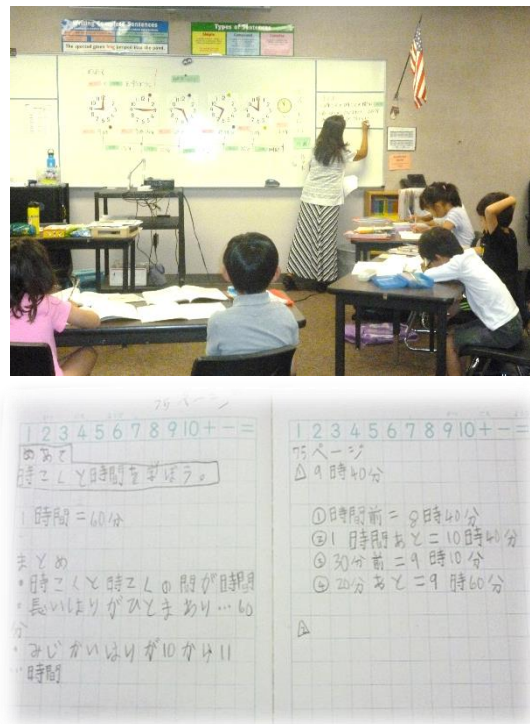
そのために、問題場面ごとの時刻を表す時計を用意して、時の流れを視覚化した工夫がありました。

また、ノートに書く指導に時間をかけてありました。

その目的は、

- ①これまで獲得したひらがな、カタカナ、漢字を活用する。
②自分の考えを書いて明確にする。など

育てたい力を強く意識した授業づくりに感心しました。



集合写真の購入について

掲示している集合写真の所に、右記のような「申し込み用紙」を準備していますので、必要な枚数等をご記入の上、代金(現金)を添えて、担任もしくは事務局員にお渡しください。

締め切りは、8月31日(土)です。

Student's Personal Information
Name: _____
Date: _____

学年：小・中・高 _____ 年 組 _____

原簿生体氏名：

方直番号	枚数	金額
Total		

* 40 セント x 枚数を現金でご注文ください。
* 締め切りは 8/31 です。